

応急手当での普及 貢献で6団体表彰

松本広域消防局

松本広域消防局は「救急の日」の9日、応急手当に関与する取り組みが積極的に模範となる事業所など6団体表彰した。5～12日の「救急医療週間」の一環。

表彰は、応急手当での普及促進のため、同消防局が11年前から実施。6団体は松本市のキッセイ薬品工業、県松本盲学校、ホリデイスポーツクラブ、波田白樺ジュニアクラ

ブ、下立田町会自主防災会と、安曇野市消防団女性消防隊。表彰式で中沼博史消防局長は「尊い命を救うため、救命リ



中沼消防局長から表彰状を受け取る波田白樺ジュニアクラブの代表者(左)

レーの第一走者としてこれからもご協力をお願いしたい」とあいさつした。

表彰団体のうちキッセイ薬品工業は、同消防局の応急手当指導員を招き、AED(自動体外式除細動器)の使い方や人工呼吸法を受講。同消防局管内の同社事業所では、従業員の2割以上が普通救命講習会の修了証を持つという。同社の足立寿喜夫常務は6団体を代表し「より迅速に不測の事態に対応できるよう、これからも一層意識の高揚を図っていきたい」と述べた。